【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： SCLC-103

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応
小細胞 肺がん	weekly CDDP+CPT-11	28日間	4～6コース	■ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 □ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他

催吐リスク
高

根拠
N Engl J Med 346: 85-91, 2002 Lung Cancer 44: 121-7, 2004 Ann Oncol 18: 317-23, 2007 Cancer Chemother Pharmacol 42: 53-8, 1998

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	デキサート アロキシ 生理食塩液	6.6mg 0.75mg 50mL	点滴静注	15分	↓							↓							↓													
②	イリノテカン 生理食塩液	60mg/㎡ 250mL	点滴静注	60分	↓							↓							↓													
③	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分	↓							↓							↓													
④	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓							↓							↓													
⑤	シスプラチン 生理食塩液	30mg/㎡ 250mL	点滴静注	60分	↓							↓							↓													
⑥	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓							↓							↓													

＜注意事項/備考＞

✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
✓ 聴力障害（CDDP）：総投与量300㎎/㎡以上で高音域の聴力低下、耳鳴りなどの発現↑
✓ 下痢（CPT-11）：急性症状（コリン様症状、前投薬に抗コリン薬併用などの検討）と慢性症状（活性代謝物による粘膜障害、必要に応じてロペラミドの検討）
✓
✓